

教育・保育の提供区域について

子ども・子育て支援事業計画では、地理的条件や交通事業、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備状況などを総合的に勘案して、保護者や子供が居宅より容易に移動することが可能な区域を「教育・保育提供区域」として設定することとされている。

- 子ども・子育て支援事業計画では、設定した教育・保育提供区域ごとに、各事業の「量の見込み」、「確保方策」、「実施時期」等を定める。
- 教育・保育提供区域は、計画に記載する教育・保育及び地域子ども子育て支援事業を通じて、共通の区域設定とすることが基本。
- ただし、利用実態が異なる場合には、実態に応じて子どもの認定区分ごとや事業ごとに設定することも可能。
- 教育・保育の提供区域は、教育・保育施設や地域型保育事業の認可の際に行われる需給調整の判断基準となる。

＜教育・保育の提供区域の対象となる事業＞

教育・保育	教育・保育施設	認定こども園 幼稚園 保育所
	地域型保育事業	小規模保育 家庭的保育 居宅訪問型保育 事業所内保育
地域子ども子育て支援事業		地域子育て支援拠点事業 一時預かり 放課後児童クラブ 乳児家庭全戸訪問事業 など

- 教育・保育提供区域は「量の見込み」と「提供体制」を設定する単位。
→ 量の見込みの不足が生じる場合の施設整備の基準となる。
- 小中学校の通学区域とは性質が異なり、区域内外の施設利用を制限するものではない。

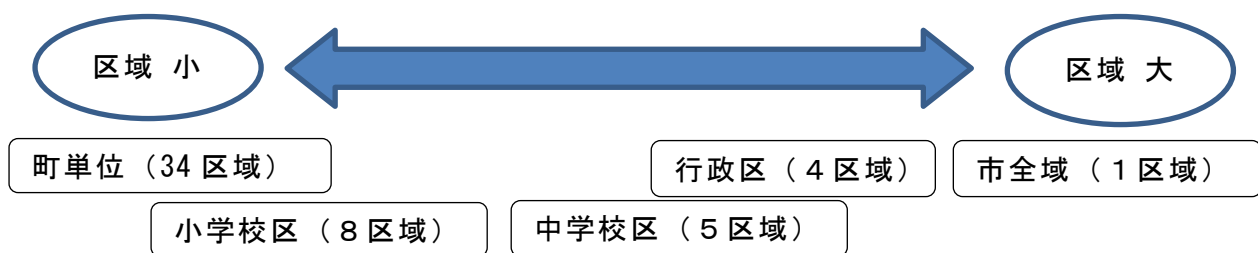
教育・保育提供区域設定の視点

身近な区域で教育保育施設や事業を利用できることは、基盤整備を行っていくうえで重要であり、区域の設定は保育サービスの供給計画にも大きく影響する。

区域が大きすぎると、区域に実情に応じた供給計画となりがたい。一方、区域を彩雲化しすぎると、供給基盤の整備が困難になり、逆に利用者の選択肢を狭めることになりかねない。

そのため、区域を設定する際には、柔軟なサービス提供が可能となる規模にすることが望ましい。

【設定にあたってのポイント】



利点	<ul style="list-style-type: none"> ・細かな需給調整が可能 ・居宅近辺での施設・事業の提供が可能となれば、きめ細かな対応が可能
難点	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のない区域も存在し事業参入も困難だと需給調整にならない ・対象となる人口の偏りが大きくなる

利点	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な需給調整が可能 ・対象人口にまとまりが出る ・全体の供給基盤整備として事業参入を呼びやすい
難点	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり大きいとおおざっぱな調整にしかならない ・居宅近辺での施設・事業の提供ができない可能性が生じる

- ・市の従来の基盤整備からかけ離れたものでないこと
- ・市の総合計画を始め、他の関連計画と整合を取りやすいものであること
- ・計画的な整備が可能となるよう、人口配分にある程度のまとまりがあること



- 対象児童人口や既存の施設配置、及び今後の整備構想等をもとに検討した結果、中学校区5区域に設定する（案）。
- なお、この設定に伴い基盤整備を検討する場合にあっても、5区域間の供給量の状況、区域内でも特定のエリアに偏在することなく、交通事情や行政界等にも配慮して、できるだけ柔軟な対応をしていくこととする。

【中学校区 5区域】

区域名	該当地域
幌別中学校区域	新栄町、幸町、千歳町、幌別町、来馬町、常盤町、中央町
西陵中学校区域	柏木町、富士町、片倉町、新川町、鉦山町、川上町
鷺別中学校区域	栄町(1-2丁目)、若草町、鷺別町、美園町、上鷺別町
登別中学校区域	カルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町、登別東町、登別本町、登別港町、札内町、富浦町
緑陽中学校区域	桜木町、青葉町、緑町、大和町、若山町、富岸町、新生町、栄町(3-4丁目)

【中学校区の状況】

地区名		幌別中学校	西陵中学校	鷺別中学校	登別中学校	緑陽中学校	
該当地域	全体	新栄町、幸町、千歳町、幌別町、来馬町、常盤町、中央町	柏木町、富士町、片倉町、新川町、鉦山町、川上町	栄町(1-2丁目)、若草町、鷺別町、美園町、上鷺別町	カルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町、登別東町、登別本町、登別港町、札内町、富浦町	桜木町、青葉町、緑町、大和町、若山町、富岸町、新生町、栄町(3-4丁目)	備考
人口	50,985	8,762	8,343	13,641	5,741	14,499	平成25年3月31日現在
構成比(%)	100.0	17.2	16.4	26.8	11.3	28.4	
世帯数	24,857	4,275	4,047	6,704	3,202	6,630	
0歳	338	59	41	109	23	107	
1歳	331	61	52	83	21	115	
2歳	316	64	41	101	10	100	
3歳	323	55	49	88	18	113	
4歳	376	54	62	99	30	132	
5歳	386	56	54	107	28	142	
6歳	412	53	53	117	37	153	
7歳	377	72	53	103	20	129	
8歳	384	71	49	108	28	129	
9歳	455	79	56	113	33	174	
10歳	405	72	71	103	27	133	
11歳	442	73	65	108	45	151	
0-5歳計	2,070	349	299	585	130	707	
構成比(%)	100.0	16.9	14.4	28.3	6.3	34.2	
6-11歳計	2,475	420	347	651	190	868	
構成比(%)	100.0	17.0	14.0	26.3	7.7	35.1	
保育所数	5	1	1	2	1		
0-5児童数/施設数	414	349	299	293	130		1施設当たりの対象年齢人口
保育所定員数	540	120	120	240	60		
保育所利用者数	407	76	90	192	49		平成25年5月1日現在
幼稚園数	4	1		1	1	1	
3-5歳児童数/施設数	271	165		293	76	386	
幼稚園定員数	685	150		175	80	280	
幼稚園利用者数	581	129		125	60	267	平成25年5月1日現在
認可外施設数	8			3	2	3	※地域型保育想定 ちびっこら
認可外施設利用者数	46			3	21	22	
小学校数	8	2	1	2	1	2	
6-11歳児童数/施設数	309	210	347	325	190	434	1施設当たりの対象年齢人口
中学校数	5	1	1	1	1	1	
子育て支援拠点	3		支援センター		支援センター	広場	
児童館数	11	2	1	4	3	1	児童室を含む
0-11歳児童数/施設数	413	385	646	309	107	1575	1施設当たりの対象年齢人口
放課後児童クラブ	7	1	1	2	1	2	
放課後児童クラブ定員数	210	30	30	60	30	60	1クラブ定員30人で設定

(注) グレーの網掛けは該当のないところ。

【中学校区の概況】

- 人口の配分には大小が生じる。しかし極端な無理はない。
- 最大ボリュームとなる緑陽中学校区に保育所がない。
- また、緑陽中学校区には児童館が1つだけとなり、他の地区に比べ1児童館あたりの対象年齢人口が大きくなっている。
 - 緑陽中学校区への施設誘導を検討する必要がある。
- 西陵中学校区に幼稚園がない。
- 幌別中学校区、鷺別中学校区に子育て支援拠点がなくない。

【参考】

他に検討した「6地区分類」「3地区分類」は以下の通り。

参考① 6地区分類

【6地区分類】

区域名	該当地域
鷺別・美園地区	鷺別町、栄町、美園町、上鷺別町
若草・新生地区	若草町、新生町
富岸・若山地区	富岸町、若山町
幌別地区	幌別町、幸町、新栄町、大和町、中央町、常盤町、柏木町、片倉町、新川町、富士町、千歳町、来馬町、札内町、青葉町、緑町、桜木町、鉦山町、川上町
登別・富浦地区	登別本町、登別港町、登別東町、富浦町、中登別町
登別温泉・カルルス地区	カルルス町、登別温泉町、上登別町

【6地区分類の概況】

- 人口でみたバランスが悪い。
- 教育・保育施設の設置バランスが悪く、登別温泉地区、若草地区、富岸地区の3地区が空白地帯となる。 → さらなる施設誘導を図れるか。
- 小学校の配置が幌別地区に4つ集中となり偏る。
- 子育て支援拠点が鷺別地区、若草地区にない。
- 児童館が若草地区、富岸地区で足りない。

【6地区の概況】

地区名		鶯別・美園地区	若草・新生地区	富岸・若山地区	幌別地区	登別・富浦地区	登別温泉・カルルス地区	
該当地域	全体	鶯別町、栄町、美園町、上鶯別町	若草町、新生町	富岸町、若山町	幌別町、幸町、新栄町、大和町、中央町、常盤町、柏木町、片倉町、新川町、富士町、千歳町、来馬町、札内町、青葉町、緑町、桜木町、鉦山町、川上町	登別本町、登別港町、登別東町、富浦町、中登別町	カルルス町、登別温泉町、上登別町	備考
人口	50,985	9,457	9,704	4,816	21,357	4,815	836	平成25年3月31日現在
構成比(%)	100.0	18.5	19.0	9.4	41.9	9.4	1.6	
世帯数	24,857	4,755	4,590	2,140	10,209	2,598	565	
0歳	338	87	53	39	137	18	4	
1歳	331	63	58	36	153	18	3	
2歳	316	81	56	30	139	9	1	
3歳	323	70	54	36	145	15	3	
4歳	376	78	60	53	155	25	5	
5歳	386	76	67	55	161	23	4	
6歳	412	83	65	62	165	32	5	
7歳	377	77	58	50	173	17	2	
8歳	384	81	53	51	171	21	7	
9歳	455	82	73	80	188	28	4	
10歳	405	57	80	58	186	19	5	
11歳	442	70	77	63	188	34	10	
0-5歳計	2,070	455	348	249	890	108	20	
構成比(%)	100.0	22.0	16.8	12.0	43.0	5.2	1.0	
6-11歳計	2,475	450	406	364	1,071	151	33	
構成比(%)	100.0	18.2	16.4	14.7	43.3	6.1	1.3	
保育所数	5	2			2	1		
0-5歳児童数/施設数	414	228			445	108		1施設当たりの対象年齢人口
保育所定員数	540	240			240	60		
保育所利用者数	407	192			166	49		平成25年5月1日現在
幼稚園数	4	1			2	1		
3-5歳児童数/施設数	271	224			230.5	63		1施設当たりの対象年齢人口
幼稚園定員数	685	175			430	80		
幼稚園利用者数	581	125			396	60		平成25年5月1日現在
認可外施設数	8	4	1		1	1	1	※地域型保育想定 ちびっころ
認可外施設利用者数	46	11	7		7	12	9	
小学校数	8	1	1	1	4	1		
6-11歳児童数/施設数	309	450	406	364	268	151		
中学校数	5	1		1	2	1		
子育て支援拠点	3			広場	支援センター	支援センター		
児童館数	11	3	1		4	2	1	児童室を含む
0-11歳児童数/施設数	413	302	754		490	130	53	1施設当たりの対象年齢人口
放課後児童クラブ	7	1	1	1	3	1		
放課後児童クラブ定員数	210	30	30	30	90	30		1クラブ定員30人で設定

(注) グレーの網掛けは該当のないところ。

参考② 3 地区分類

【3 地区分類】

区域名	該当地域
鷺別地区	鷺別町、栄町、美園町、上鷺別町、若草町、新生町、富岸町、若山町
幌別地区	幌別町、幸町、新栄町、大和町、中央町、常盤町、柏木町、片倉町、新川町、富士町、千歳町、来馬町、札内町、青葉町、緑町、桜木町、鉢山町、川上町
登別・登別温泉地区	登別本町、登別港町、登別東町、富浦町、中登別町、カルルス町、登別温泉町、上登別町

【3 地区の概況】

地区名		鷺別地区	幌別地区	登別・温泉地区
該当地域	全体			
人口	50,985	23,977	21,357	5,651
構成比(%)	100	47.0	41.9	11.1
世帯数	24,857	11,485	10,209	3,163
0歳	338	179	137	22
1歳	331	157	153	21
2歳	316	167	139	10
3歳	323	160	145	18
4歳	376	191	155	30
5歳	386	198	161	27
6歳	412	210	165	37
7歳	377	185	173	19
8歳	384	185	171	28
9歳	455	235	188	32
10歳	405	195	186	24
11歳	442	210	188	44
0-5歳計	2,070	1,052	890	128
構成比(%)	100.0	50.8	43.0	6.2
6-11歳計	2,475	1,220	1,071	184
構成比(%)	100.0	49.3	43.3	7.4
保育所数	5	2	2	1
0-5歳児童数/施設数	414	1,052	890	128
保育所定員数	540	240	240	60
保育所利用者数	407	192	166	49
幼稚園数	4	1	2	1
3-5歳児童数/施設数	271	549	461	75
幼稚園定員数	685	175	430	80
幼稚園利用者数	581	125	396	60
認可外施設数	8	5	1	2
認可外施設利用者数	46	18	7	21
小学校数	8	3	4	1
6-11歳児童数/施設数	309	1,220	1,071	184
中学校数	5	2	2	1
子育て支援拠点	3	広場	支援センター	支援センター
児童館数	11	4	4	3
0-11歳児童数/施設数	413	2,272	1,961	312
放課後児童クラブ	7	3	3	1
放課後児童クラブ定員数	210	90	90	30

(注) グレーの網掛けは該当のないところ。

【3地区の概況】

○施設配分としてのバランスは良い

○まとまりはでるが、おおざっぱでどこに何が不足しているかは、わかりづらい。